



2025年2月12日

各 位

会 社 名 ソレイジア・ファーマ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 荒井好裕  
(コード番号：4597 東証グロース)  
問合せ先 取締役 CFO 管理本部長 宮下敏雄  
電 話 03-5843-8046

### 減損損失計上及び2024年12月期通期連結業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会において、2024年12月期連結決算における減損損失計上を決議いたしました。また、2025年1月6日に公表いたしました2024年12月期（2024年1月1日から2024年12月31日）の連結業績予想と本日公表の決算実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 減損損失の内容

当社は、製品「ダルビアス® (SP-02)」の中国権利導出契約締結を目指し、2023年度より準備、交渉を進めてまいりました。現在も当該活動は継続中であるものの、市場環境変化の影響を受け導出候補先企業との契約経済条件意向の乖離等が生じ、未だ契約締結には至っておりません。また現在の効能・効果が希少疾病である末梢性 T 細胞リンパ腫であることによる市場浸透度合い、並びに適応症拡大の開発は未だ非臨床試験段階にあること等に鑑み、無形資産価値について会計上の再評価を実施し、2024年12月期決算において、ダルビアス®無形資産残高全額959百万円の減損損失を計上することとなりました。

本件減損処理は、過去の開発投資を資産計上した無形資産に対する帳簿上の調整処理であり、資金流出を伴うものではありません。また、本件減損により当社開発品無形資産全額が解消されることになり、今後新規無形資産計上まで、当座は無形資産償却費が発生しないこととなります。

本件は、ダルビアス®の医薬品としての本質的価値を否定するものではないと当社は認識しております。現在の効能・効果である末梢性 T 細胞リンパ腫は希少疾患であり、複数の競合薬が存在する中で、販売数量の上昇には中長期での臨床現場での使用実績積上げが必要と考えられる薬剤です。また有望ながん種（アンメットメディカルニーズ疾患含む）への適応症拡大の可能性を評価する非臨床開発が進行しております。本製品の抗腫瘍効果は新規作用機序によるものであり、他剤との併用療法が可能な医薬品としての開発も期待されます。

当社は引き続き、中国を始めとしたその他地域への権利導出活動を継続するとともに、更なる開発を遂行し、ダルビアス®の当社損益貢献に向けた取り組みを進めてまいります。

2. 2024年12月期通期連結業績予想数値の差異（2024年1月1日～2024年12月31日）

（単位：百万円）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	300	△1,050	△1,050	△1,050	△5.28
今回実績(B)	316	△1,951	△1,961	△1,941	△9.77
増減額(B-A)	16	—	—	—	—
増減率(%)	5.3%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期)	617	△1,139	△1,135	△1,112	△6.62

3. 差異の理由

差異発生は、概ね上記 959 百万円の減損損失計上に起因します。売上収益は、凡そ前回予想値同水準となりました。営業損益、税引前損益および当期損益は、減損損失計上により前回予想を下回る数値となり、売上収益 316 百万円、営業損失 1,951 百万円、税引前損失 1,961 百万円、親会社の所有者に帰属する当期損失は 1,941 百万円となりました。

以上

注意事項：

このプレスリリースに記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、このプレスリリースに含まれている医薬品又は医療機器（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。